

注 意 報

平成14年度病害虫発生予察注意報第4号

平成14年10月4日

熊本県病害虫防除所長

農作物名 野菜・花き類

病害虫名 オオタバコガ

1 予報内容

- (1) 発生地域 県下全域
- (2) 発生時期 10月上旬以降
- (3) 発生程度 多

2 注意報発令の根拠

- (1) フェロモントラップによる誘殺数は、合志町では平年及び昨年に比べかなり多く推移しており、鏡町でも平年に比べ多く推移している。
- (2) ほ場における発生は、6月中旬以降周期的に発生し、特にトマト、ナス、キャベツ、キクなどで被害が認められる。
- (3) 本虫は例年10月下旬頃まで連続的にフェロモントラップへの誘殺が確認される。今後の気象は1ヶ月予報(平成14年9月27日付、福岡管区气象台発表)によると、気温、降水量、日照時間は平年並と予想されていることから、今後も成虫の飛来が続くと考えられ、冬春作野菜や花き類での被害の拡大が懸念される。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 本虫は連続的に発生するため、圃場内をよく観察し早期発見に努める。
- (2) 本虫は齢期が進むと茎や果実へ食入するため薬剤の効果が低下する。また、老齢幼虫も薬剤による防除効果が低下するため、早期発見に努め、若齢幼虫期に防除を徹底する。
- (3) 果菜類では、被害果の早期摘果と処分はその後の発生を抑制するのに有効である。また、摘芯した腋芽や花蕾、摘果した果実等は、本虫の卵や幼虫がついている場合もあるため、ほ場外に持ち出し処分する。
- (4) 施設栽培では施設開口部を防虫ネット(4mm目以下)等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- (5) 使用薬剤は、県(表1)または地域の防除基準に従い、使用基準を遵守して農薬の安全使用に努める。